

「地域支援事業」と「地域包括ケアシステム」に適合

緊急通報
システム

じしんたすけ[®]

低額な費用

高い救助率

孤独死の防止



相談・介護等の要請時



押ボタン
(オプション)



急病・事故等の緊急時



無線発信器



安否確認の必要時



無線式人感センサー
(オプション)

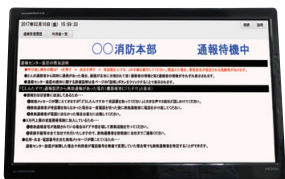


救助通報機

急病・事故等の緊急通報だけが消防署へ



消防署



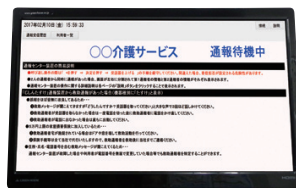
通報センター装置



介護事業者等

緊急通報だけが
消防署受信方式

すべての通報が介護事業者へ



通報センター装置



介護事業者

すべての通報が
介護事業者受信方式

「じしんたすけ」はすべての関係者

取引先自治体様と消防署様の要望と協力によって、事業関

自治体や介護事業者の充実



基本の機能とサービス

- 通報機器は誤報をほぼ皆無に改良したため、地域協力者の必要性は軽減
- 救助通報機はあらゆる電話会社・電話回線・電話機にも設置可能、また救助メッセージが任意に録音できるため聴覚等障害者にも設置可能
- 通報センター装置は他社製通報機器と混用受信できるため随時の交換導入が可能、また他社製通報機器を継続使用する場合でも規定条件を満たせば無償貸与
- 設置工事料を含めて初期費用は一切不要のリース方式、またレンタル方式も可能
- リース契約は新規設置した翌年度4月1日のため、予算編成が容易(自治体限定)
- すべての緊急通報関連業務や工事保守等を予算編成が容易な定額契約で完全代行

オプションの機能とサービス

- 無線式人感センサーによる安否確認が365日・24時間できるため、孤独死の防止が可能
- 押ボタンによる各種相談や介護要請が可能
- 高齢化による事業費増大を抑制するための利用負担金の徴収を完全代行(自治体限定)

消防署や介護事業者の充実



- 通報機器は誤報をほぼ皆無に改良したため、誤報対応からは解放され正報対処に専念
- 救助通報機に内蔵された双方向スピーカーホン機能を使用して、利用者との会話や状況確認が可能
- 利用者を救助するために損壊した家屋は5万円上限の家屋損害保険で修理
- 利用者が電話回線等は無届で変更した場合でも、録音メッセージにより対処が可能
- 通報受信に伴う関連作業はすべてプルダウン方式で容易に処理
- 利用者データ等の入力・変更・削除と管理業務、また年度(年間)通報受信件数表等の各種帳表の作成業務はオンラインを使用して完全代行
- モバイル情報閲覧システムで24時間どこでも通報受信が可能(介護事業者用オプション)

高齢者や聴覚等障害者の利用者の充実



- 通報機器は利用者がどんな電話会社・電話回線・電話機を使用しているも設置可能
- 無線発信器はお風呂でも使用できる生活防水仕様と直線見通し送信距離100mのため、利用者の救助率が大幅向上
- 救助通報機は救助メッセージを任意に録音できるため、聴覚等障害者にも設置可能

に充実の緊急通報システムです

係者の皆様にとって、より充実したシステムを実現しました。

緊急通報システム「じしんたすけ」の機器構成図

自治体と介護保険の利用者

通報機器(基本セット)



無線発信器
(最大10台)



救助通報機

救助通報機は通報機器の主要品で
無線発信器はペンダント型と腕時計型

(オプション)

無線式火災感知器



停電バッテリー



押ボタン



無線式人感センサー

P4~P7のオプションに加え、自動通報方式の無線式
火災感知器と5時間使用可能な停電バッテリーも用意

他社製通報機器



通報センター装置は
全機種を受信可能

消防署

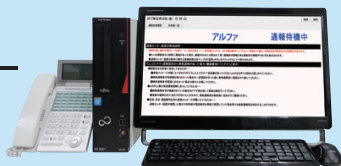
通報センター
装置



受信関連業務の処理はすべてプルダウン方式

アルファ

通報センター
装置



受信関連業務の処理はすべてプルダウン方式

介護事業者

通報センター
装置



モバイル情報閲覧システム
(オプション)

やむを得ない不在時でも24時間どこでも
通報受信が可能なオプションシステム

オンライン

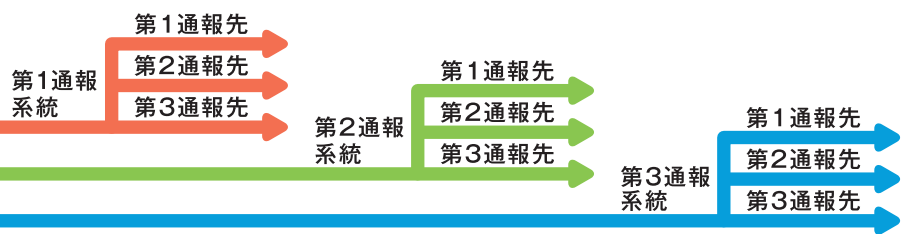
オンライン

救助通報機の最多通報先

緊急通報を家族や近隣に光や音で
知らせる機器が接続可能



外部出力機器
(オプション)



最も救助率が高い現在の消防署受信を継続したい場合におすすめ

緊急通報だけが消防署受信方式のシステム概略図

急病・事故等の緊急時

利用者が無線発信器のボタンを押下



無線発信器



相談・介護等の要請時

利用者が押ボタンを押下



押ボタン(オプション)



安否確認の必要時

人感センサーが利用者を24時間一度も感知しないと自動で通報



無線式人感センサー(オプション)



救助通報機



あらゆる電話回線に適合(P11参照)

全メッセージは任意録音が可能

緊急通報時の
通報メッセージ例

「緊急事態発生です」

〇〇町〇〇丁目〇〇番地〇〇号
氏名〇〇〇〇
電話番号〇〇-〇〇-〇〇〇〇

相談・介護通報時の
通報メッセージ例

「相談・介護要請です」

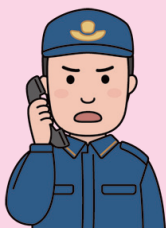
〇〇町〇〇丁目〇〇番地〇〇号
氏名〇〇〇〇
電話番号〇〇-〇〇-〇〇〇〇

安否確認通報時の
通報メッセージ例

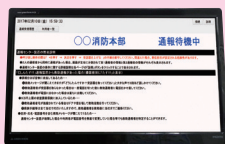
「安否確認必要です」

〇〇町〇〇丁目〇〇番地〇〇号
氏名〇〇〇〇
電話番号〇〇-〇〇-〇〇〇〇

緊急通報を受信し対処



消防署

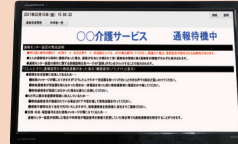


通報センター装置

緊急通報以外を受信し対処



介護事業者



通報センター装置



親族・地域協力者等

相談・介護要請や安否確認(オプション)は利用者や親族の費用負担にすることも可能

地域支援事業の主体になる地域密着型の介護事業者におすすめ

すべての通報が介護事業者受信方式のシステム概略図

急病・事故等の緊急時

利用者が無線発信器のボタンを押下



介護保険利用者 自治体利用者

無線発信器



相談・介護等の要請時

利用者が押ボタンを押下



介護保険利用者



自治体利用者

押ボタン(オプション)



安否確認の必要時

人感センサーが利用者を24時間一度も感知しないと自動で通報



介護保険利用者



自治体利用者

無線式人感センサー(オプション)



救助通報機



あらゆる電話回線に適合(P11参照)

全メッセージは任意録音が可能

緊急通報時の
通報メッセージ例

「緊急事態発生です」

〇〇町〇〇丁目〇〇番地〇〇号
氏名〇〇〇〇
電話番号〇〇-〇〇-〇〇〇〇

相談・介護通報時の
通報メッセージ例

「相談・介護要請です」

〇〇町〇〇丁目〇〇番地〇〇号
氏名〇〇〇〇
電話番号〇〇-〇〇-〇〇〇〇

安否確認通報時の
通報メッセージ例

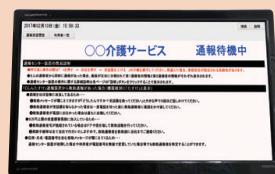
「安否確認必要です」

〇〇町〇〇丁目〇〇番地〇〇号
氏名〇〇〇〇
電話番号〇〇-〇〇-〇〇〇〇

すべての通報を受信し対処



介護事業者



通報センター装置

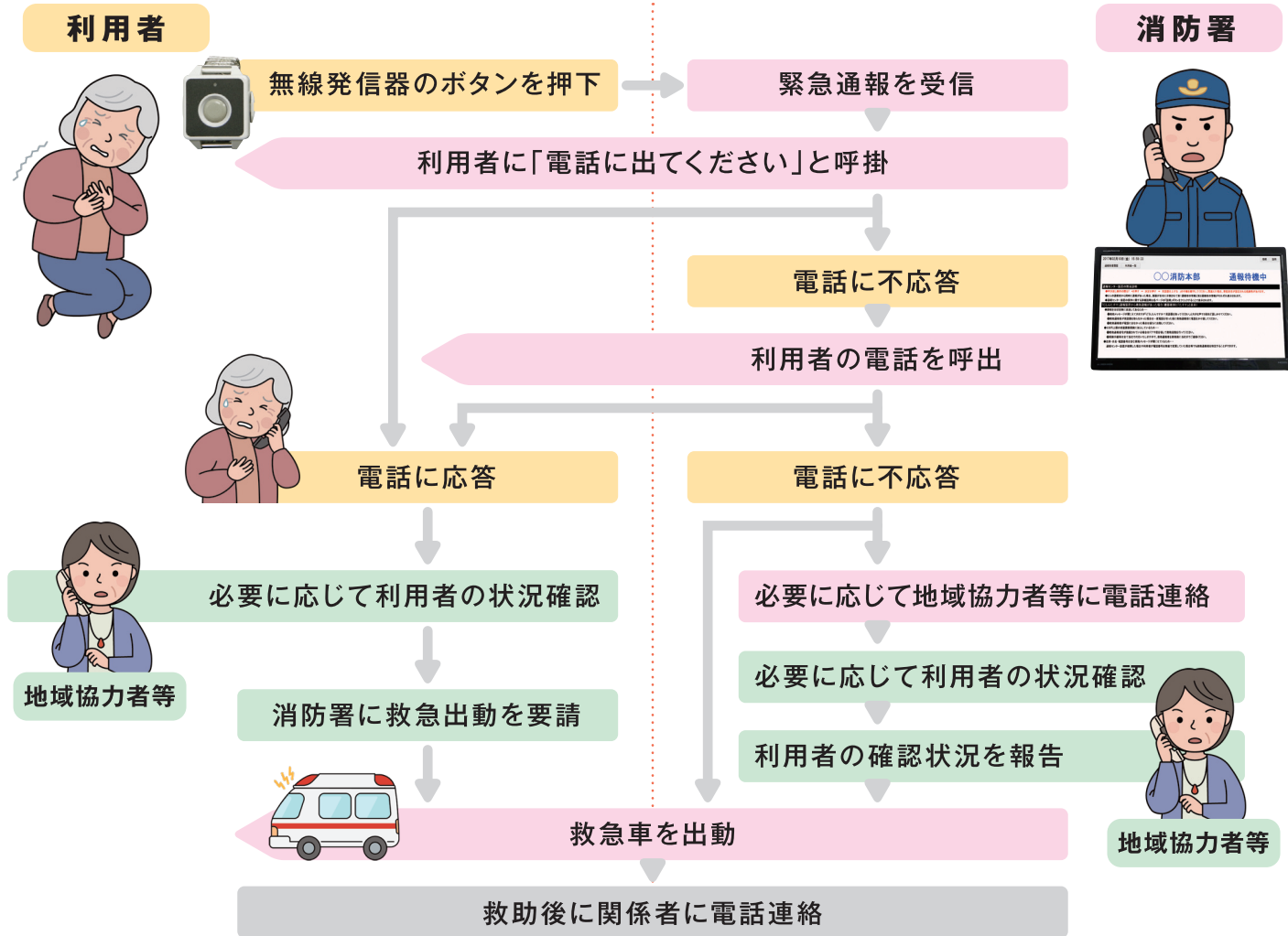
必要に応じて
利用者訪問を
指示・依頼



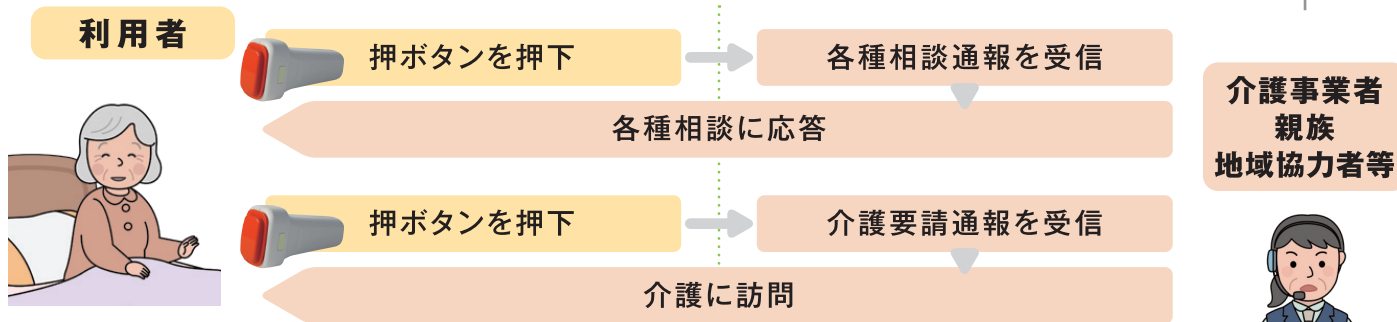
介護職員・地域協力者等

緊急通報だけが消防署受信方式の対処例

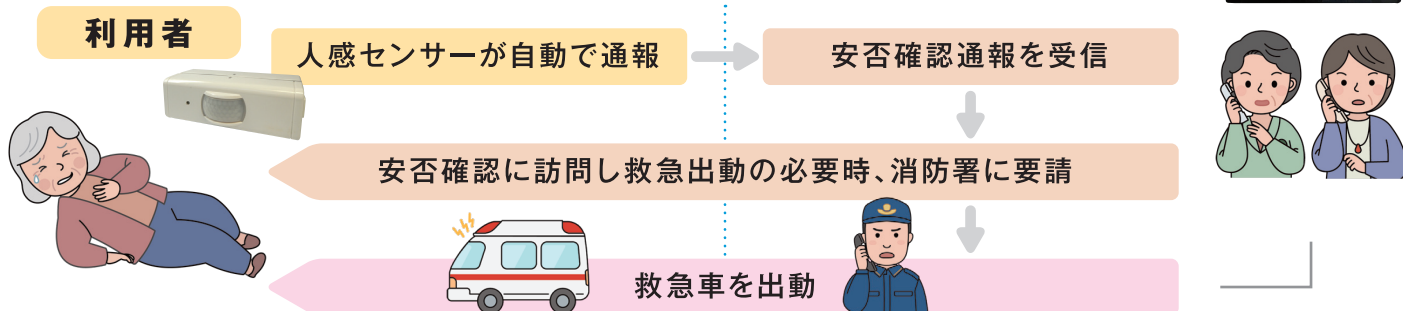
急病・事故等の緊急時



相談・介護等の要請時



安否確認の必要時



すべての通報が介護事業者受信方式の対処例

急病・事故等の緊急時

利用者



無線発信器のボタンを押下

緊急通報を受信

利用者に「電話に出てください」と呼掛

電話に不応答

利用者の電話を呼出

電話に回答

電話に不応答

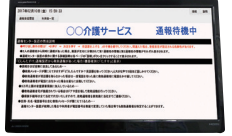
利用者の状況確認に訪問

救急出動の必要時、消防署に要請

救急車を出動

救助後に関係者に電話連絡

介護事業者



必要に応じて
利用者訪問を
指示・依頼

**介護職員
地域協力者等**

相談・介護等の要請時

利用者



押ボタンを押下

各種相談通報を受信

各種相談に回答

押ボタンを押下

介護要請通報を受信

介護に訪問



安否確認の必要時

利用者



人感センサーが自動で通報

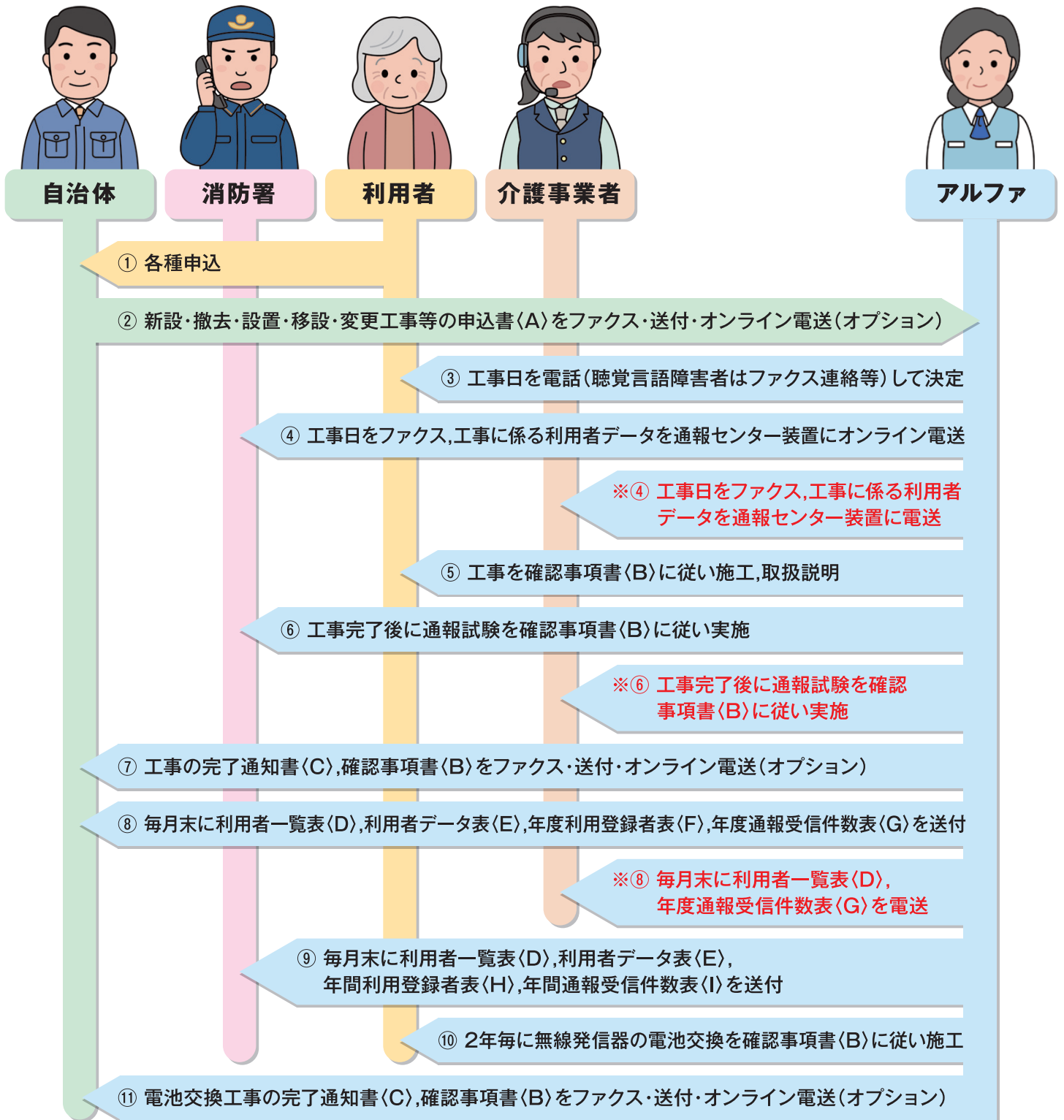
安否確認通報を受信

安否確認に訪問し救急出動の必要時、消防署に要請

救急車を出動



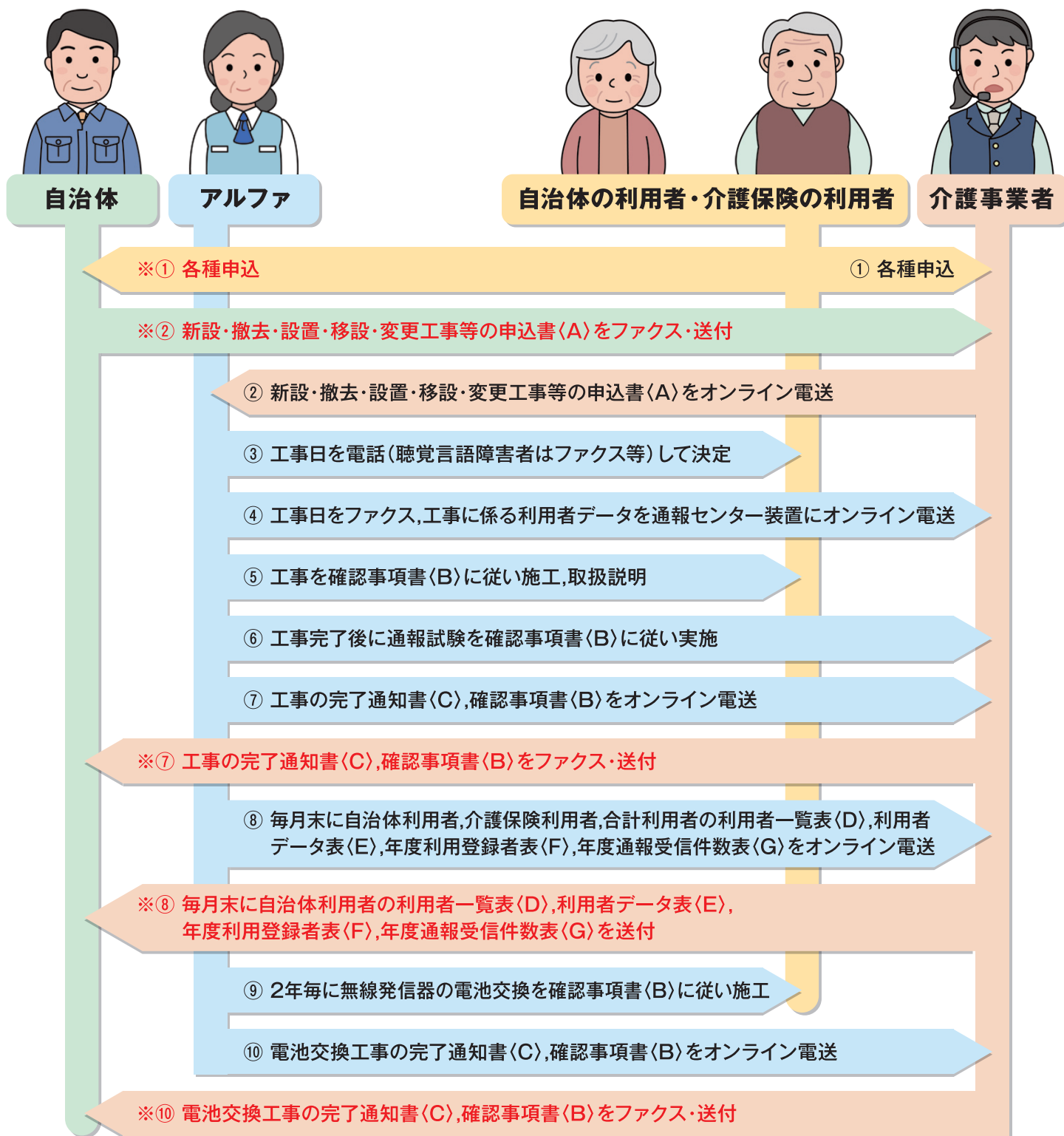
定額契約による関連業務の完全代行 (緊急通報だけが消防署受信方式)



定額契約の業務内容 (上図(A)~(I)は別紙の営業資料を参照)

- 上図③~⑪のすべての工事と業務(新設工事料だけはリース料を含む)
 - 通報機器の撤去工事と整備・保管業務
 - 撤去,整備,保管の通報機器の設置工事
 - 行政区域内の通報機器の移設工事
 - 通報機器の変更工事(利用者の回線変更に伴う工事は条件付)
 - 2年毎の無線発信器の電池交換工事(停電バッテリーは別途取決)
 - 通報機器の障害修理(機器の紛失・破損等は別途費用)
 - 上図※④⑥⑧は介護事業者が自治体利用者の緊急通報以外の受信業務を受託した場合の業務
- 各種工事は撤去工事を除き原則10日以内に施工

定額契約による関連業務の完全代行(すべての通報が介護事業者受信方式)



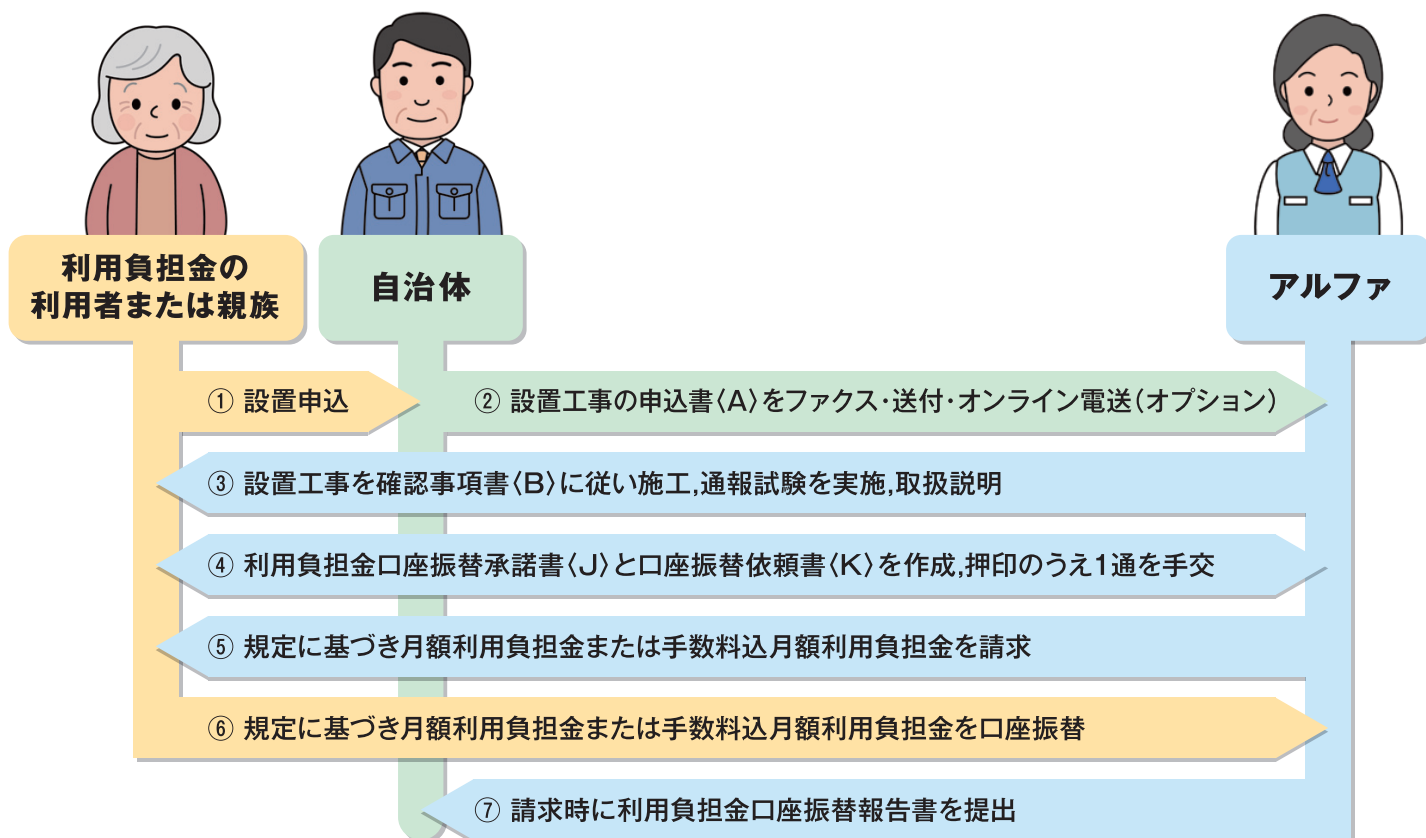
定額契約の業務内容 (上図(A)~(G)は別紙の営業資料を参照)

- 上図③~⑩のすべての工事と業務(新設工事料だけはリース料に含む)
- 通報機器の撤去工事と整備・保管業務
- 撤去,整備,保管の通報機器の設置工事
- 行政区域内の通報機器の移設工事
- 通報機器の変更工事(利用者の回線変更に伴う工事は条件付)
- 2年毎の無線発信器の電池交換工事(停電バッテリーは別途取決)
- 通報機器の障害修理(機器の紛失・破損等は別途費用)

各種工事は撤去工事を除き
原則10日以内に施工

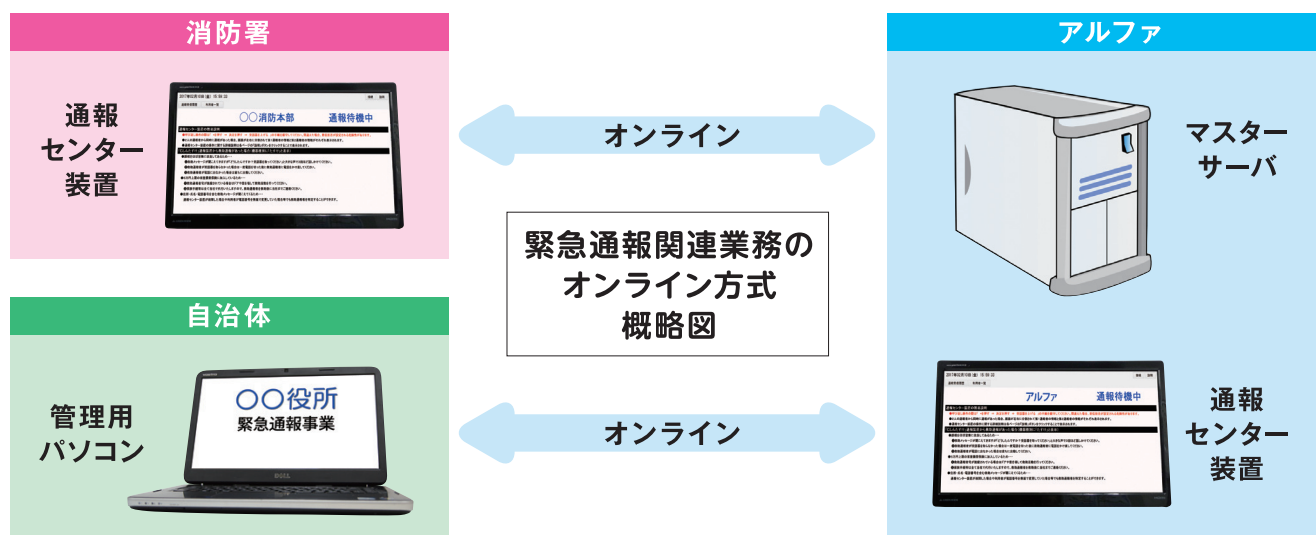
● 上図※①②⑦⑧⑩は介護事業者が自治体利用者の通報受信業務を受託した場合の業務

利用負担金の徴収代行（下図〈A〉〈B〉〈J〉〈K〉は別紙の営業資料を参照）



緊急通報事業の管理用パソコン(オプション)

総務省がマイナンバー制度の本格的な運用に伴い通達した情報セキュリティの強化対策のためにも導入をおすすめします。



【オンライン方式の利点】

- オンラインはメタル回線を使用するため, 情報漏洩は完全に防止
- 各種申込書は随時オンラインで収受できるため, 郵送やファクス送信は不要
- 利用者一覧表, 利用者データ表, 年度利用者登録者表, 年度通報受信件数表, さらに消防署の受信情報も適宜オンラインで電送できるため, 各種帳表の保管と管理は不要になり検索・閲覧・印刷が随時容易に可能

救助通報機が設置できる電話回線に関する概説

電話回線種類	接続分配機	欠点・注意事項	
電話加入権が不要な回線	光回線電話	ルーター (アナログ端子)	ルーターの故障時や停電時は通報が不可能
	CATV電話	ルーターまたは モジュラージャック	ルーターの故障時や停電時、 またインターネット網の品質低下時等は通報が不可能
	ADSL専用型	モデム (アナログ端子)	モデムの故障時や停電時は通報が不可能 また利用者のデータ登録は050で始まるIP番号に変更
	直収型電話	モジュラージャック	インターネット網の品質低下時等は通報が不可能
	加入電話・ライトプラン (マイライン選択対象)	モジュラージャック	マイラインの市内通話料の未払時は通報が不可能
	INS64ネット・ライト (マイライン選択対象)	ターミナルアダプタ (アナログ端子)	ターミナルアダプタの故障時や停電時、 またマイラインの市内通話料の未払時は通報が不可能
電話加入権が必要な回線	加入電話 (マイライン選択対象)	モジュラージャック	マイラインの市内通話料の未払時は通報が不可能
	INSネット64 (マイライン選択対象)	ターミナルアダプタ (アナログ端子)	ターミナルアダプタの故障時や停電時、 またマイラインの市内通話料の未払時は通報が不可能
	INSネット1500 (マイライン選択対象)	ターミナルアダプタ (アナログ端子)	ターミナルアダプタの故障時や停電時、 またマイラインの市内通話料の未払時は通報が不可能
	ADSL加入電話共用型	モデム (アナログ端子)	モデムの故障時や停電時は通報が不可能

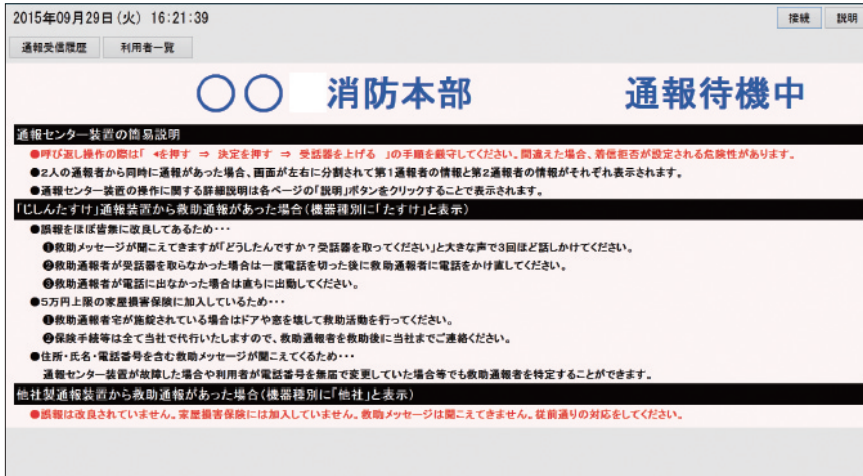
随時最良の選択ができる通報機器の導入方法

選択可能な導入方法

現在の契約形態

	すべて交換設置	順次に交換設置	新規から設置
レンタル	何の問題も無く可能 交換後のレンタル料は不要	何の問題も無く可能 交換後のレンタル料は不要	何の問題も無く可能
買取	何の問題も無く可能	何の問題も無く可能 古い機器から交換が最良	何の問題も無く可能
リース満了	何の問題も無く可能 交換後の再リース料は不要	何の問題も無く可能 交換後の再リース料は不要	何の問題も無く可能
リース中途	グレードアップ方式で可能 交換後のリース料は不要	リース満了機器から交換が最良 交換後の再リース料は不要	何の問題も無く可能

待機画面(中央部は変更可能)



通報受信時の画面



スピードメモ・備考編集の画面(選択肢は変更可能)



登録者のデータ・通



通報受信履歴の一覧画面



取扱説明



置の画面表示例

(項目名は変更可能)

この画面は、個人データの登録・管理を行うための画面です。上部には「登録済」や「終了」などの操作ボタンがあります。中央には、氏名、生年月日、性別、住所などの項目が並ぶリストが表示されています。下部には、検索や印刷などの機能ボタンが配置されています。

2回線分を同時に通報受信時の画面

この画面は、2回線分の通報を受信した際の表示画面です。上部には「2015年09月14日 (月) 19:25:25」という日時情報が表示されています。画面は左右2つの欄に分かれており、それぞれ異なる通報内容が確認できます。各欄には「受信時刻」「経過時間」「受信種別」などの情報が記載されています。また、通報者の氏名や住所、電話番号などの詳細情報も表示されています。

報受信履歴の画面

この画面は、過去の通報履歴を確認するための画面です。上部には「2015年09月14日 (月) 19:25:02」という日時情報が表示されています。画面には、氏名、生年月日、性別、住所などの項目が並ぶリストが表示されています。下部には、検索や印刷などの機能ボタンが配置されています。

登録者データの一覧画面

この画面は、登録者のデータを一覧で確認するための画面です。上部には「2015年09月14日 (月) 19:26:07」という日時情報が表示されています。画面には、氏名、生年月日、性別、住所などの項目が並ぶリストが表示されています。下部には、検索や印刷などの機能ボタンが配置されています。

の画面

通報受信履歴・登録者データの検索画面

この画面は、通報履歴や登録者データを検索するための画面です。上部には「ひんたすけ 検索」という検索条件が表示されています。画面には、氏名、生年月日、性別、住所などの項目が並ぶリストが表示されています。下部には、検索や印刷などの機能ボタンが配置されています。

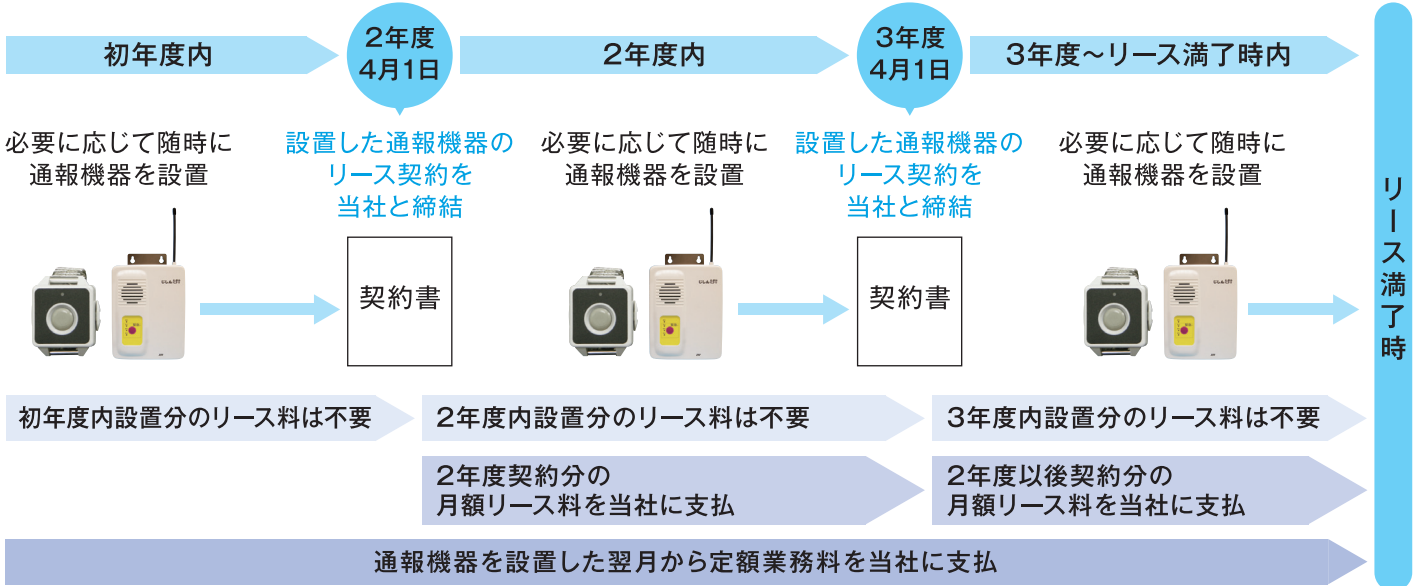
◀ 通報受信履歴検索

この画面は、通報履歴や登録者データを検索するための検索フォームです。検索条件として「受信日」「氏名/カナ」「電話番号」などの項目が設定されています。また、「受信種別」や「初動対応」などの条件も設定できます。下部には「検索実行」や「閉じる」などのボタンが配置されています。

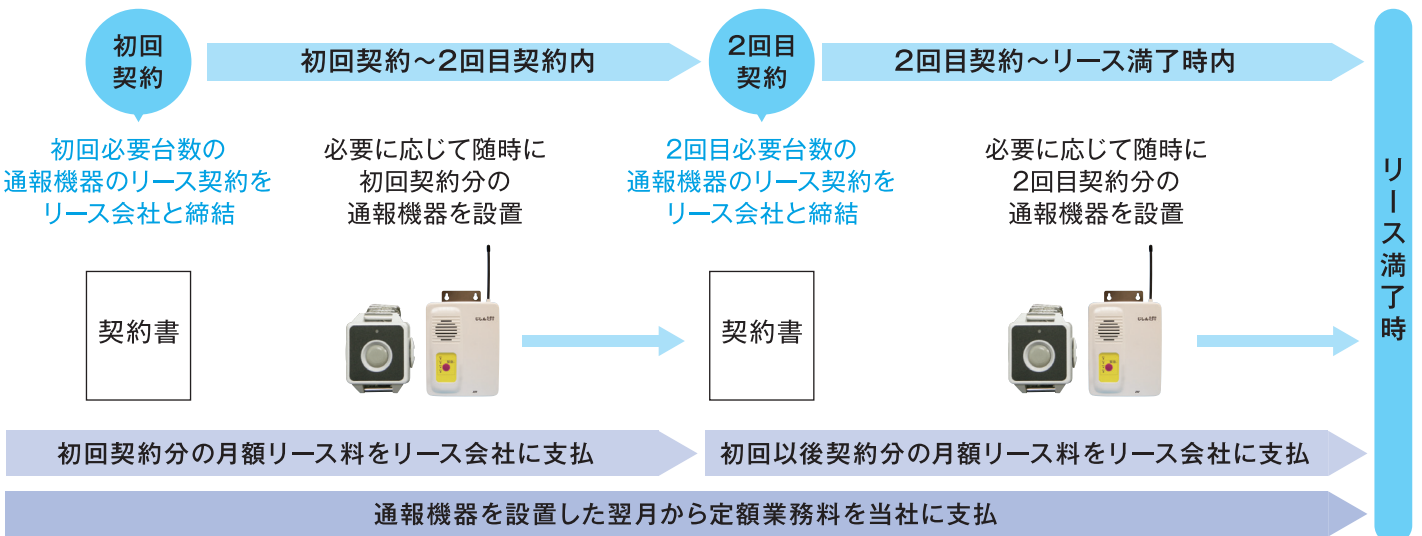
登録者データ検索 ▶

合理的で経済的な契約・支払方式

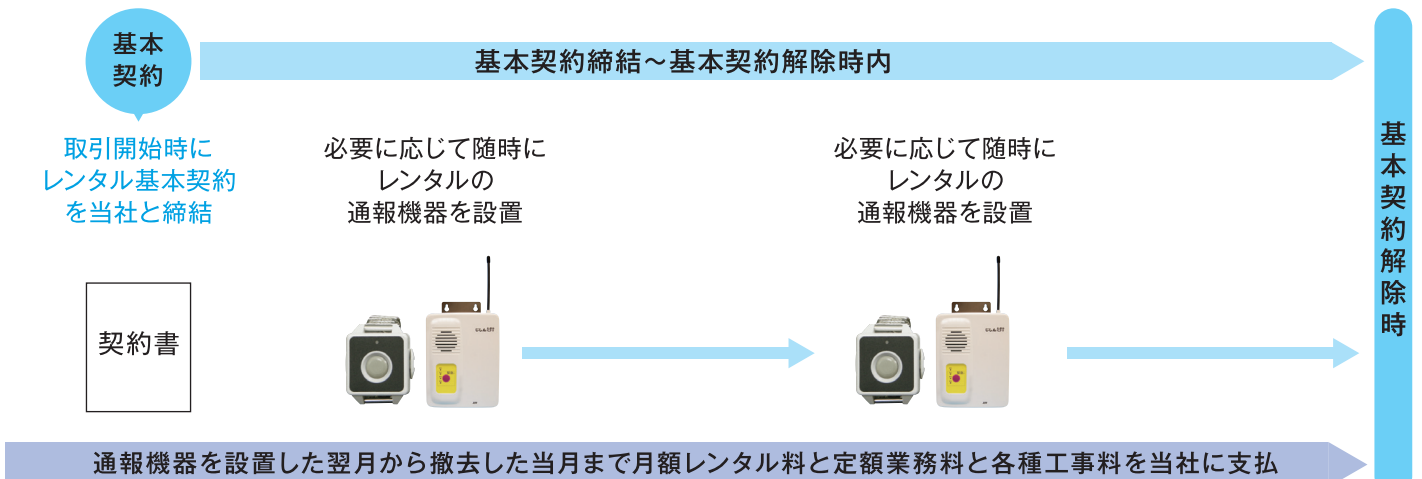
自治体限定自社リース方式



ファイナンシャルリース方式



レンタル方式



【特 集】

緊急通報システム

もしも「時」が来た時に ボタンひとつで 救急車を呼ぶことが出来る!!!

高齢者の強い味方

秩父市でシステムを導入

腕時計型無線発信器のボタンを押せば、自宅内に設置してある救助通報装置を通して、消防本部に直接、通報が入る――

女性60歳、男性は70、80歳。高齢者、障がい者、生活困窮者など、高齢者の暮らしのサポートを目的とした緊急通報システム。本誌は「緊急通報システム」の導入が、高齢者の暮らしをサポートする上で重要な役割を果たしていることを紹介する。また、高齢者の暮らしをサポートする上で、緊急通報システムが果たしている役割についても紹介する。



新タイプの腕時計型「じしんたすけ」。神保町にあるジャパロ武蔵野店の展示コーナーで撮影。生活の本拠地だから、入居時つづけたままでよい。



通報を受けたらすぐにコンピューターが立ち上がり、発信元を探し、「緊急通報センター」に伝えます。発信元を探し、派遣先を決定し、派遣先へ通報を行います。データがある場合は自動的に呼び出すことができます。緊急通報センターの職員が対応します。

発信者も高齢者、即、対応!

「緊急通報システム」は、高齢者の暮らしをサポートする上で重要な役割を果たしている。高齢者の暮らしをサポートする上で、緊急通報システムが果たしている役割についても紹介する。また、高齢者の暮らしをサポートする上で、緊急通報システムが果たしている役割についても紹介する。

「ひとり暮らしで、不安を抱えている高齢者であれば、誰でも設置ができる――」



秩父市で緊急通報システムを導入している「緊急通報センター」の職員と、高齢者の代表者との対談。この対談から、緊急通報システムが果たしている役割についても紹介する。

「孤独死ゼロの町づくり」

緊急通報システムについては、「ファイター」の代表取締役として知られる元本高松市の市長「孤独死ゼロの町づくり――緊急通報システムが実現する高齢化社会のセーフティネット」(ダイヤモンド社刊)に詳しい。同書では、高齢者の孤独死をゼロにするためのセーフティネット、緊急通報システムの導入現場を取材し、高齢化社会を生かすためのノウハウを紹介している。また、緊急通報システムの重要性についても紹介している。



「他市には見られない「公的なシステム」」

「おひとりさまも安心して暮らせるセーフティネット」

秩父市 緊急通報システム

今後の地域支援事業と地域包括ケアシステムの主体は 消防署と定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者です。

緊急通報だけは誤報が皆無になれば消防署受信が最良です。

自治体が緊急通報事業を実施した初期はほとんどが消防署受信でした。ところが予想を超えた誤報が発生したため、自治体は消防署の前に地域協力者に受信してもらうなどの誤報対策を実施しましたが、誤報を無くすことができませんでした。そのため漸次消防署が事業から離脱し、警備会社や受信センターに移行していきました。

しかし警備会社はすべての自治体には拠点がなく、受信センターは確保が困難な地域協力者に依存するため、迅速で確実な救助が困難になりました。もし誤報さえ皆無であれば、緊急通報だけは最も救助率が高く、地域協力者の必要性が軽減される消防署受信が最良です。

通報受信は定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者が主体です。

現在、全国の市区町村は厚生労働省の政策である地域支援事業と地域包括ケアシステムの構築を推進しています。この政策は高齢者が生涯自宅で暮らせるように、急病・事故等の緊急時、相談・介護等の要請時や安否確認の必要時にいつでも対応できる見守り体制を市区町村ごとに構築することが目的です。今後、すべての見守り体制を構築するには警備会社や受信センターではな

く、地域の消防署、地方公共機関、介護事業者や医療機関と連携できる定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者が主体になります。そこで定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者様に、多数の取引先自治体様と消防署様との20年間にわたる業務実績によってシステムとノウハウを構築した弊社との協働をご提案させていただくことにしました。

デモ用実機によるデモンストレーションを実施しています。

お申込みは下記の弊社までお気軽にご連絡ください。



無料



〒165-0026 東京都中野区新井 1-1-16-1F
TEL:03(5343)4411 FAX:03(5380)7700

〒441-8088 愛知県豊橋市牟呂市場町 7-9-1F
TEL:0532(34)3541 FAX:0532(34)3641

E-MAIL: info@jisintasuke.com
http://www.jisintasuke.com/

●お問合せ・資料請求は